

学校だより

翔 空

No. 16 平成24年 7月12日(木)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来

校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限らない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

〔屋内プールでの指導について〕

今週の水曜日にユラックス熱海で、全校生を対象とした水泳の第1回目の指導が行われました。こちらからの連絡が少遅れたこともあり、参加状況は、男子が101名中81名(80%)、女子は88名中55名(63%)という結果でした。体育科の三瓶、高木両先生に加え、山内先生にも指導に携わっていただき、整然とした中にも、楽しく有意義に学べたと思えます。指導内容は、「水に慣れる」「基本的な泳法の確認(クロール)」などでしたが、男女に分けて実施したところ、昨年度よりも参加者が増えたと体育主任から報告がありました。

なお、**来週17日(火)に第2回目**が予定されております。(出発時間などについては、第1回目とほぼ同じです。)今回の指導の反省点を踏まえ、1回目よりも充実した水泳指導をしたいと考えております。何卒、ご準備方よろしく願います。お子様に一声かけてください。(「3連休明け」ですのでお忘れなく!)

生徒会の取り組みが紹介されました!

7月11日〔水〕の福島民友新聞に、本校生徒会(会長 吉澤汐理さん)の取り組みが紹介されました。記事の中では、生徒会が中心となり、昨年夏からおよそ1年間をかけて集めたペットボトルのキャップ約4万個(100kg近く)を寄付したという内容が紹介されています。生徒会が総会で呼びかけたエコキャップの取り組みは、各クラス及びポスター掲示回収箱を設置した上で、配布等さまざまな方法を取りながら、熱心に呼びかけてきたものです。生徒189名の力で100kgを集めたその努力が大きな成果を生みました。

このように、地道な取り組みが成果を生むということ、どんな活動を通していてもよいので生徒に学んでほしいと思っております。保護者の皆様、ご協力本当にありがとうございました。(そういえば、数日前、袋一杯にキャップを持参された保護者の方がいらっしゃいました!)

味のある話から...

「あなたの仕事は何ですか?」と聞くと、決まって、「教師です。」とか「自動車整備士として働いています。」のような回答が返ってきます。

ところが、私が本当に答えてほしいと思っているのは、こういった答えではなく、「私の仕事は、他人のために一生懸命働くことです。」のような本質をついた、とてもなかみの深い答えなのです。・・・以上、引用〔講師 中山 靖先生〕

このお話、実は、数年前、私が「テレビ寺子屋」(土曜日の朝5時30分から放映)という番組で聞いた話なのですが、先日、ある会議に出席したところ、講演で立たれた先生からも同じ話を聞き、改めて深く感動することができました。

現在、フリーターやニートが増えています。そういう私の長女も大卒3年目を迎えるというのにいまだ定職に就いていません。経済不況も手伝って多くの人々が職に就けずに悩んでいます。

ところで、不況による離職者は別として、フリーターやニートのみならず、「あなたの仕事は何ですか?」と聞いたら、何割がまともな答えを言ってくれるのでしょうか。世の中全体が、「何のために働いているのか」とか、「何のために生きているのか」といった真剣な質問に背を向けているように感じます。(いや向けざるを得ないのかも知れませんが)ですから、悲しいことに私たち教師でさえも、上にあげたような本質に迫る質問を投げかけられても、まともに答えられないのです。先月、職場体験で各事業所等で働くことの厳しさを体験してきた2年生の皆さんには、ぜひとも、同じ質問に対して「人のために働くことです。」と堂々と言える大人になってほしいと思います。



☆大切なお知らせ☆ PTA西ブロック球技大会の後の慰労会の案内が出されました。

過日、PTA西ブロック球技大会後の慰労会の文書がお子様を通して配付されました。7月22日(日)大会日の夕方6時から、市内のかに徳で(会費4,000円)行います。文書が届いていない保護者の方でも、ご参加可能な場合には、学校(PTA庶務担当 三瓶)へお電話ください。多くの参加をお待ちしております。なお、しめ切りは17日(火)までとなっております。

「子どもたちにワクチンを」

※ エコキャップ運動とは、

学校などで回収したペットボトルのキャップを再資源化して得た収益を寄付金とし、その寄付金を用いて購入したポリオワクチンは、発展途上国の子どもたちに順次届けられています。